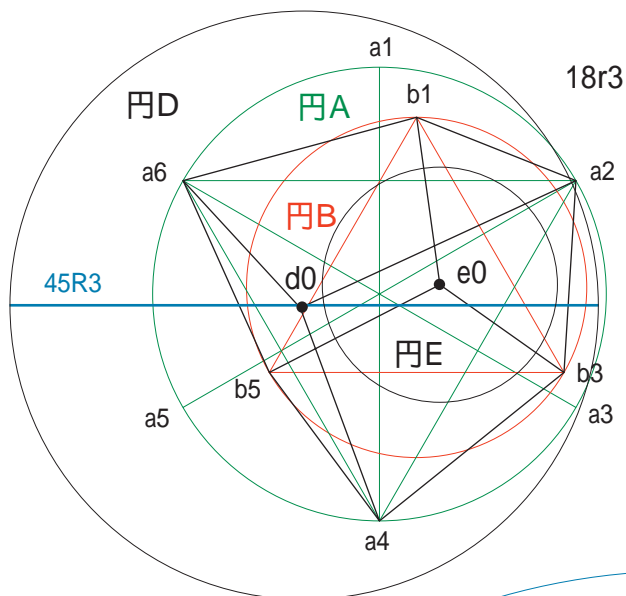
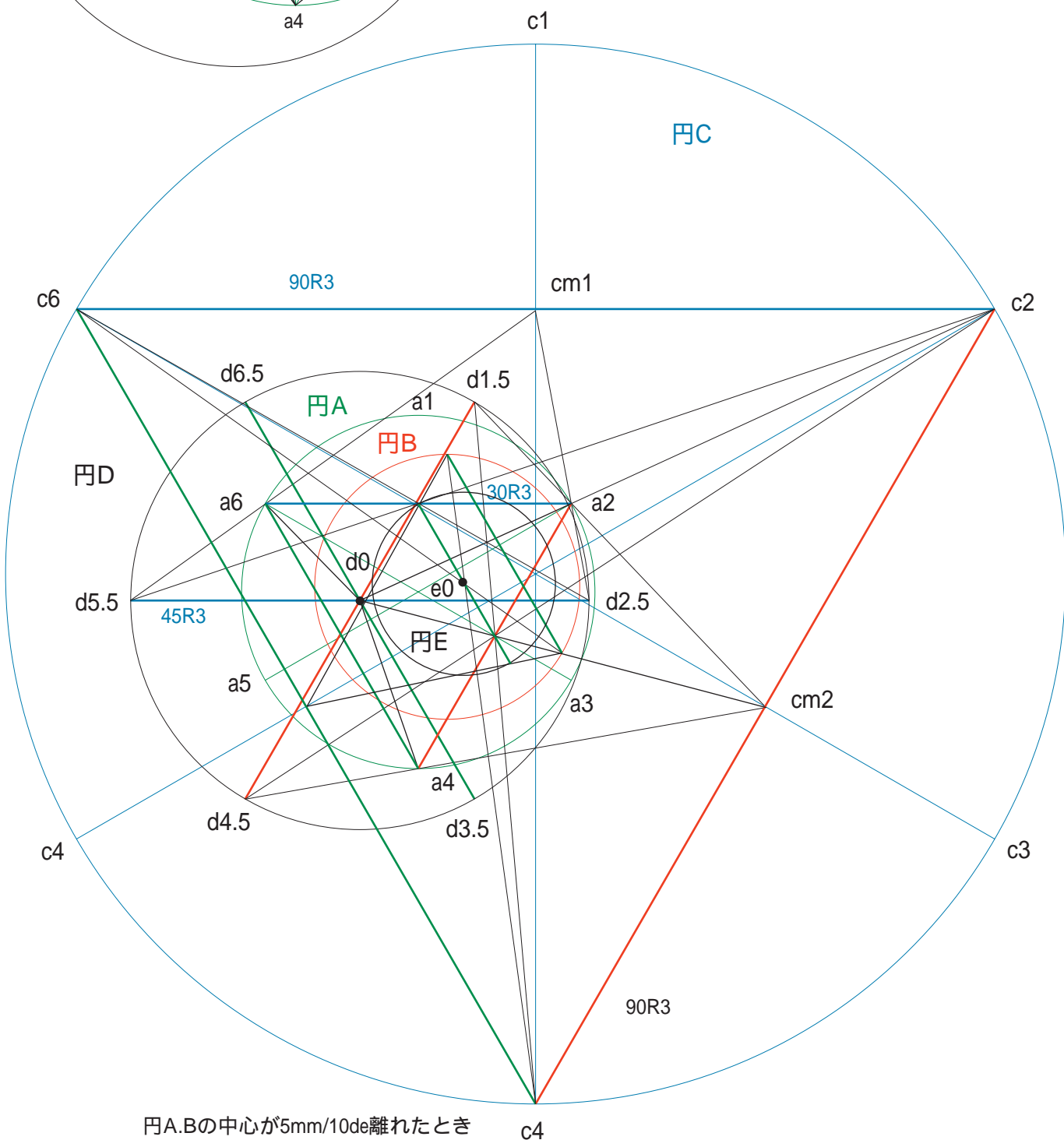


$\text{pronity}_{60/45/180} = A/B/C$ (円の直径)

立方体の手前と奥の頂点のプロニティー



プロニティーの関係にある3つの円に内接する正三角形AとCの平行する2辺の端点を結ぶ3本の線が交わる立方体の手前の点(d0)は、A.Cの平行する2辺とプロニティーの関係を持つ線分の中点であり、中心が60度に交差する3本の直径となる。この長さは、Cの正三角形の1辺(90R3)とAの正三角形の1辺(30R3)の積を差で割った値(45R3)となり、この円に内接する正三角形の1辺は67.5となる。又CとBの1辺の関係から立方体の奥の点(e0)を求める事が出来る。(e0)を中点とする線分の値は、Cの正三角形の1辺(90R3)とBの正三角形の1辺(22.5R3)の積を和で割って得られる(18R3)。



円A.Bの中心が5mm/10de離れたとき
Cの中心は(5*180/60)=15(B.C)